



京都府立大学文学部＋京都府立京都学・歴彩館合同企画展示会

第七回 府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学

— 京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵古典籍・資料展 —

私たち京都府立大学文学部と京都府立京都学・歴彩館は、各種の授業連携を通じて、歴彩館所蔵資料の調査・研究・活用を行っています。この展示は、文学部の各学科と歴彩館のコラボレーションの成果を広く公開するものです。学生たちが歴彩館資料の豊かさを多様な角度から紹介します。どうぞお楽しみください。

会期

令和6年12月14日(土)～令和7年1月7日(火)

休館日 令和6年12月28日(土)～令和7年1月4日(土)

時間 9時～17時

会場 京都府立京都学・歴彩館1階 展示室 ※入場無料

参加費 無料

主催 京都府立大学文学部 京都府立京都学・歴彩館

問合せ先 京都府立大学 学務課文学部事務担当

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1番地5 Tel (075) 703-5117

日本・中国文学学科

中国の古典籍というと、李白や杜甫の詩集、あるいは三国志や西遊記といった小説をまずは思い浮かべるかもしれませんが、ほかにもさまざまな書籍が出版されています。日本・中国文学学科では「中国古典籍の世界」と題し、名著や受験参考書、美しい挿絵や面白い図解を施したものなど、歴彩館所蔵の漢籍を学部生・大学院生が紹介し、古典籍の魅力を伝えます。



「人鏡陽秋」

国際文化交流学科

京都大学教授であった武田五一は、京都市役所、旧島津製作所本社ビルなど、近代京都の街並みに多くの足跡を残しました。ヨーロッパを遊学した武田ですが、滞在の短かったオーストリアのウィーン分離派の影響が強いといわれています。ウィーン分離派会館の写真展示で、当時流行したユーゲントシュティル様式の武田建築への影響を見てもらえます。また、新旧の京都の街並みの写真で、武田のデザインした建築物の姿も味わえます。



同志社女子大学栄光館

歴史学科

京都学・歴彩館の史料を使って研究する講義「日本文化史研究」の成果を紹介します。「京都の災害」を全体テーマとしつつ五つの班に分かれて、「宇治川の水害と防災」、「鴨川の洪水と人々」、「天明の大火」、「天保の飢饉と京都」、「京都の地震からみる地震観の変遷」に関わる展示を予定しています。学生による展示解説を12月19日(木)13:00～14:00に行う予定です。



「天保七年京都窮民救恤図」(「山本読書室資料」より)



アクセス

- JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から
京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口)南へ徒歩約4分
- 京阪出町柳駅から
京都市バス1 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分
- JR 二条駅から
京都市バス206 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分

会場へは便利な京都市営地下鉄・市バスをご利用ください。